

情報電子工学科 論文発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員および研究員、※は大学院生、卒研究生または卒業生

題名	福島県内の空間線量率監視システムの変遷と課題－可搬型モニタリングポストを中心に－
掲載雑誌	日本保健物理学会誌
著者	<u>飽本一裕</u>
概要	東日本大震災により、福島県内に設置されていた空間線量率自動計測装置はほぼ壊滅した。しかし、直後に発生した福島第一原発事故のため、線量率を広域計測する必要性が生じた。本論文には、福島県や国がどのように現在の線量広域測定ネットワークを構築したかを詳細に解説した。